

キッズインナーP.B.「キニコ」開始 企画に母親の声反映

子供服・子供服飾雑貨の買い取り・販売ECサイト「キニコ」を運営するキニコオン（東京、吉澤健仁社長）は、

キッズインナーP.B.「キニコ」をスタートする。自社会員の声を参考に企画・開発した半袖Tシャツ（2枚組み690円）と半袖ロンパース（同990円）の2型を19年1月15日からEC



「キニコ」のロンパース。Tシャツとともにサイズは10号刻みで60〜130

と期間限定店舗で販売する。今後はインナーに特化して随時商品の幅を広げていく。期間限定店も積極的に出し、19年春以降には初の常設店も計画する。

キニコオンは13年にスタート。着実に認知度を高めており、現在は30〜40代の母親を中心に約3万人の会員を持つ。ブランド子供服・靴の売場が中心で、年間流通点数は約20万。平均客単価は4000〜6000円だ。

キッズインナーP.B.を開発したのは、現在キニコオンで売買している品目でなかったことに加え、会員から要望があったから。同社では定期的に会員の声を聞く機会を設けており、18年10月には0歳から中学生の子供を持つ女性469人にキッズインナーに対する意識調査を行った。そのなかで、安さを理由

に大手チェーン店で購入する人が多いことやECでの購入は送料に不満を持っていることなどがわかった。

これらの調査を参考に、キニコは色や素材、ディテールなどに配慮して開発する。「下着っぽく見えず、汚れが目立たない色が欲しい」という声から、白のほかに黒やグレー、ラベンダーを揃える。洗濯表示タグをチクチクしないように外側に付けているほか、名前を書ける欄もある。素材は綿100%で、前傾姿勢の多い赤ちゃんの動きに合わせて、生地が伸びやすい方向を考えて裁断するなどしている。通常キニコオンで商品を購入する場合は3900円以上で送料無料にしているが、キニコは購入額を問わず送料無料で送る。

キニコは1月15日から、自社サイトで販売する。また、2月20日まで出店中のヴィーナースフオート店や2月1日から28日まで出店するらぼーと立川立飛店でも販売する。キニコ特設サイトも用意し、開発の背景や秘話、製造過程を伝えるコンテンツなども用意する。初年度の販売計画は5万着。

同社は常設出店を視野に、18年秋から首都圏で積極的に期間限定店を開設している。今後は地方都市への期間限定店も計画しており、19年中には常設店を出したい考えだ。